

## 専門英語（4年） コーディネーター：病態生理学分野 佐原資謹教授

第4学年 後期

講義 12.0時間  
 前期  
 演習 1.5時間

### 教育成果（アウトカム）（講義）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上に必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

### 事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月2日(金) 3限 10月7日(水) 4限 10月14日(水) 4限 10月30日(金) 4限	James Hobbs (教養教育センター)	<b>chair side conversation</b>  英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。	1. 英語で問診ができる。 2. 英語で治療内容を説明できる。 3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。
11月9日(月) 4限 11月13日(金) 4限 11月19日(木) 4限 11月25日(水) 4限	FR、SmAD、AST、TxCH、AD 担当講座／分野の教員	<b>歯学の基本用語</b>  臨床でよく使われる歯学用語を理解する。	1. 臨床でよく使われる基礎的な歯学用語を理解することができる。 2. 臨床でよく使われる歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月16日(水) 2限	James Hobbs (共通教育センター) 佐原 資謹 (病態生理学分野)	chair side conversation と歯学の基本用語／演習	到達度評価試験

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

書 名	著者氏名	発行所	発行年
参 Dental Terminology 2 <sup>nd</sup> ed	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2007年

#### 成績評価方法

個々の英語力の多様なレベルに対応できるよう、ネイティブスピーカーによる対話形式の授業（共通教育センター教員担当）と、少人数のグループ学習（臨床系分野の教員等が担当）の形式でおこない、到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。

#### オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
James Hobbs	B-i	月～金		在室時いつでも可
佐原資謹	B-i	月～金		時間が空いていればいつでも可。